

①テーマ

周りの市に追いつけ！ 追い越せ！ 今こそ歴史ある瀬戸市の底力を見せるとき。

②アイデアのイメージ

瀬戸市の人口推移



【2015年】

総面積(km ²)	111	平均年齢(歳)	46.7	昼夜間人口比率(%)	90.8
人口密度(人/km ²)	1,188.4	※昼夜間人口比率のみ2010年時点			
		※图中的点線は前回2013年公表の「将来人口推計」の値			© jp.gdfreak.com

高齢者が増え、若者が年々減っている。⇒若者に移りこんでもらえるような街にすることで瀬戸市をこれまで以上に発展することができる！

なので

立派なアスレチックなどを作れば、若者はもちろん子供連れの家族も増えるはず！

瀬戸市の北側と東側にある広大な緑地を利用する。



③アイデアの特徴・メリット

年々若者が減ってきており、あまり瀬戸市に興味を持つ人が少ないことが分かったので、そんな若者が興味を持つような施設を誘致したり、施設の様子などをSNSなどで発信すれば、瀬戸市に移りこんでもらえるような街になると思います。

提出者

スポーツ健康 学部

担当 吉田・谷口 先生

学籍番号 / 氏名

①テーマ

若者が作る商店街に！

②アイデアのイメージ



銀座通り商店街

[生活の中心に！]
子育てをしている
お母さんたちに必要な
生活必需品が
そろえるようにする！

お母さんたちが
たまには楽しめるよう
お総菜屋さんを作る

[若い商店街に！]
学校帰りに気軽に
行ける活気の溢れる
最新の商店街にする。

積極的に店舗を貸し出す
(家賃は低めに設定)



中央商店街

[メリット]
学生の社会勉強
になる！

[アイデア]
大学生が
期間限定で
商店街に店を
オープン！

[ゴール]
若者が作り出す
活気溢れた商店街
を目指す！



瀬戸川

[生活の知恵が豊富！]
お年寄りが過ごしやすい
商店街にする。
お年寄りのコミュニケー
ションの場に！

お年寄り中心のため
段差を減らしたり
文字を大きくし
たりする



末広町商店街

③アイデアの特徴・メリット

瀬戸市の商店街を活性化させることで街だけでなく瀬戸市の人にも活気があふれる。
銀座通り商店街→若者向けの商店街にする。中央商店街→生活必需品が揃う商店街にする。
末広町商店街→お年寄りのコミュニケーションの場にする。
大学生が期間限定のお店をオープンさせることで学生にとっては社会勉強になり、商店街は若者が行きやすい環境になる。